

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2018年9月20日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部経済学科
留学先国	米国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カルフォルニア大学アーバイン校 現地言語: University of California, Irvine
留学期間	2018年6月～2018年9月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年9月18日
明治大学卒業予定年	2021年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:      2学期:      3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約30000人
創立年	1965年

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	6,632	729,601円	
宿舍費	2,126	233,907円	On-campus
食費	2727	300,000円	
図書費	0	0円	
学用品費	420	46,200円	教科書代
教養娯楽費	680	74800円	アクティビティ参加費
被服費	0	0円	
医療費	0	0円	
保険費	279	30,690円	形態:Mandatory Non-UC campus Fee
渡航旅費	1,974	217,180円	
雑費	180	19,800円	お土産代など
その他	182	20,050円	海外 sim カード通信費
その他		円	
その他		円	
<b>合計</b>	15,200	1,672,000円	1USD=110JPY として計算

## 渡航関連

**渡航経路:** 成田国際空港(NRT)⇄ロサンゼルス国際空港(LAX)

渡航費用

チケットの種類	エコノミー
往路	108,590
復路	108,590
合計	217,180

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

JAL

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学学生寮(Arryo Vista)

2)部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数2)

3)住居を探した方法:

UCI のホームページまたは資料

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

正直言うと最悪でした。住人の多くは日本人と中国人で人種の多様性が欠けていました。ルームメイトともトラブルが絶えず RA と呼ばれる寮を管理する現地生にお願いしてミーティングを開いてもらい、なんとか共存することができましたがストレスがたまるため自分の部屋にはほとんどいませんでした。また寮内にはエアコンがなく、特に日中はかなり暑く感じるため自習室で勉強に集中できないことがよくありました。キッチン・トイレは共用でしたが、綺麗かどうかは住人によります。僕たちの寮の場合は中国人の何名かが皿を洗わなかったり食材を放置していたためかなり不潔でハエが飛び回っていました。寮内で特にイベントが開かれることもなかったため留学生との交流活動も盛んではなかったです。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

サマーセッションオフィスまたはレジデンスオフィス

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

観光する際には事前にインターネットでその地域の治安に関する情報を収集した。ただアーバインはかなり安全な場所なので犯罪などの心配をする必要はあまりない。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮・大学内では基本的に Wi-fi 環境が整っており利用に際して特に支障はなかった。街中では free Wi-fi スポットがいくつかあるが、自分は海外 sim カードによる通信接続をしていた。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードのみ。預金を定期的に親に確認してもらい、足りなくなったときは、お金を入れてもらっていた。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

特になし

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
商社、銀行
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
もとからグローバルに働きたいと考えていたが、その気持ちがいかに強くなった。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
14 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
University of writing and communication	
科目設置学部・研究科	English
履修期間	Session1
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Jillanne Thomas
授業内容	米国の大学におけるコミュニケーションの仕方、レポートを書く際の正しいフォーマット、
試験・課題など	課題はリーディング、エッセイライティング、プレゼンテーションに向けてのグループワークなど多岐にわたる。試験は期末のみ。
感想を自由記入	担当教授はかなり優しく質問すれば丁寧に指導してくれる。課題はほぼ毎授業出されるが、エッセイ以外はそこまで時間はかからない。内容も難しくはないため、授業に出席し、課題をきちんとこなせば段位はもらえる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Marketing		マーケティング入門	
科目設置学部・研究科	Business		
履修期間	Session1		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に170分が2回		
担当教授	Valerie R. Sheppard		
授業内容	マーケティングの基礎について学習する。授業外ではグループが指定され、メンバーとある特定のブランドに関して弱みを特定し、打開策を提示する企業分析を行いプレゼンテーションするグループワークが課される。		
試験・課題など	課題は主にリーディング課題とプレゼンテーションに向けてのグループワークが課される。教科書は時々40ページ近く読まなければいけないこともあるため大変。試験は中間と期末があるが、マークシート形式で問題もそこまで難しい。		
感想を自由記入	教授はかなり優しく質問すれば丁寧に指導してくれる。試験勉強に関してはオンライン教材を使うと効率的に対策できる。プレゼンテーション直前になるとグループメンバーと授業外に集まって話し合うため少し大変。また成績に占める Participation の比率が高いため、授業中での発言やオフィスアワーに行くなど積極的な授業参加が求められる。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Global Economy		国際経済論	
科目設置学部・研究科	Social Sciences		
履修期間	Session2		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に170分が2回		
担当教授	George Sarraf		
授業内容	国際経済の基礎について学ぶ。基礎のため内容はそこまで難しくはないが背景知識があればより容易に理解できる。全体の授業の前半は国際経済を論じるうえで必要となるミクロ・マクロの復習をし、後半でそれらを発展させて本題を扱うため理解がしやすい工夫がされている。週に一度ディスカッションクラスが設置されており、TAによる補講が開かれ問題演習を行う。		
試験・課題など	課題は全体で2回のみ。ただし量は多くマークシートと記述用紙を使って回答する。試験は中間と期末があり、マークシート形式と記述式の併用。		
感想を自由記入	先生は優しく質問すれば丁寧に指導してくれる。またジョークをよく言うため面白い、ただ声が小さいため前のほうの座席に座ったほうが良い。試験の成績に占める割合が非常に高いため実力勝負である。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Organizational Change		組織改革論	
科目設置学部・研究科	Business		
履修期間	Session2		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に170分が2回		
担当教授	Grace McLaughlin		
授業内容	内容自体が難しく、MBA を目指している人もとる授業であるため難度が高め。組織改革論の基礎から応用まで幅広く扱う。グループワークがあり、教科書に書かれたケーススタディ 2 つについて協力して答案を作成する。		
試験・課題など	課題は毎回リーディングが 30 ページ近くあり、その内容に関するクイズをオンラインで授業前に受ける必要がある。それに加えグループワークがあるためなかなか大変。試験は中間と期末があり、全問記述式で問題は易しいものから難しいものまで出題される。		
感想を自由記入	先生は優しく質問すれば丁寧に指導してくれる。ただ授業をかなり早く切り上げることが多い。教科書の語彙レベルが高く読解に苦勞する。この授業に関しては成績評価がかなり厳しく、74%未満まで Fail となるため受講する際は覚悟が必要。しかし授業内容そのものは新鮮で面白いためとる価値はある。また成績に占める Participation の比率がかなり高いため授業中に発言する必要がある。		

留学に関するタイムチャート
---------------

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	ノースイースタン大学短期留学、中期留学を考え始める
10月～12月	UCSS の説明会参加、UCI 出願を決意、情報収集、選考
2018年 1月～3月	オンライン履修登録、出願手続き、必要書類等の準備、寮申し込み、TOEIC の勉強
4月～7月	留学願提出、ビザ手続き、航空券購入、TOEFL の勉強、Session1
8月～9月	Session2
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと思った理由	大学入学時から元々何かに挑戦したいと漠然と考えていましたが、その候補の一つに留学という選択肢がありました。また以前から海外に興味があり、日本とは異なる文化・社会や授業形態を体験してみたいという気持ちもあったためです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	勉強面では何と言っても語学力を向上させることが一番大切です。教科書読解での正確性・スピード向上のために必要なリーディングスキル、講義内容把握のためのリスニングスキル、記述試験・レポート等で高得点を獲得するためのライティングスキル、現地生、留学生との交流を楽しむためのスピーキングスキルなど、当たり前ですが高い英語能力があればあるほど留学生活は楽しく実りあるものとなります。この留学プログラムは語学能力証明スコアとして TOEIC を使用できますが、TOEFL で出願するくらいの気持ちで勉強しておくことと留学中の苦労を軽減することができると思います。また履修したいと思っている科目の背景知識をあらかじめ日本の文献で軽く学習しておくことと内容理解にかなり役立ちます。生活面では 3 か月ともなると毎回外食というわけにもいかないと思うので自炊に慣れておくことと QOL 向上に役立ちます。また交流活動の際に他の留学生から日本のことについて質問されることがよくあるので自国の文化・社会について興味をもち、ある程度説明ができることと会話がより面白いものになると思います。
この留学先を選んだ理由	短期留学を 1 年の夏休みに体験し、将来的には長期留学にも挑戦したいと考えていましたが、英語力や海外長期滞在中での勉強・生活等に不安を抱えていたため、その間に中期留学に参加したいと思っていました。そこで目に付いたのがこの UCSS プログラムで、中でもアーバイン校を選びました。その理由としては大きく 2 つあります。1 つ目は治安です。アーバインは全米でもかなり治安の良い場所で夜に一人で歩いても危険なことに遭遇する可能性はほぼありません。実際、図書館で夜遅くまで勉強した後に帰宅する際にも全く問題ありませんでした。日本のような環境なので安心して生活することができます。2 つ目は交流活動です。アーバイン校では主に留学生を対象に学校側が、無料のものから有料のものまでアクティビティを計画してくれて参加すれば他国からの留学生と話す機会があり仲良くなればその後も行動を共にすることになるのでアクティビティが貴重な出会いの契機となります。異文化交流は他国のリアルな文化・社会を学習する最高の機会であり、自国への価値観の再構築につながると思います。また実際に、留学生と交流した時間はかけがえのないものであり一生に残る思い出になりました。UCSS の大学すべてに言えることですが、各大学とも世界的に見てもトップレベルですので、勉強に対する意識の高い学生たちと最高の学習環境で勉強することができると思ったのも大きな理由の一つでした。
大学・学生の雰囲気	大学はかなり広いですが Google Map を使えば迷子になることはありません。ほとんどの建物は新しく、また自然豊かな公園も存在するため、綺麗で開放的なキャンパスです。図書館や食堂、コンビニ、スタバなどたくさんの施設があるため散策すると面白いです。現地の学生はアジア系、特に中国系が多いです。真面目な学生が多く授業中は発言が絶えません。またとてもフレンドリーな学生が多く質問すれば優しく教えてくれます。
寮の雰囲気	滞在携帯関連(質問 4)を参照してください。ジムとプールを完備した体育館のような施設が隣接しており、勉強の息抜きに利用できます。大多数の留学生が Arroyo Vista に滞在するため、自分たち以外の寮に遊びに行ったりすれば様々な人と関わられるのはいいことですが、快適に暮らせるかどうかは本当に住人によります。是非情報収集を積極的に行い、他の寮も選択肢の一つとして検討してみてください。
交友関係	留学当初は緊張していたことに加え拙い英語力のせいで、積極的に自分から話しかけたりすることはほとんどありませんでした。しかし他国から来た留学生のほとんどは友達作りに意欲的でとてもフレンドリーだったため、自分の拙い英語にも優しく耳を傾けてくれました。そうしているうちに下手くそな英語でいいからたくさんの人に話しかけてみようと思えることができましたし、実際に色々な国の友達を作ることができました。留学生と異文化交流することや遊ぶことはかけがえのないものであり、とても楽しいものです。留学生と共に過ごした時間の一瞬一瞬が記憶に残る素晴らしい思い出になりました。言語の壁を感じて自分の言いたいことがうまく伝えられず誤解を招いたり、相手の言っていることが聞き取れないことなどよくありましたが、勇気を振り絞って自分から話しかけに行ったおかげでこのような貴重な経験ができたし、また自分の英語力のなさを実感して今後高めていきたいと思えたので、交流活動には一言では表せないほどの感動がありました。)

<p>困ったこと、大変だったこと</p>	<p>何と言っても中国人ルームメイトとのトラブルでした。彼は到着したや否や持ってきたデスクトップを机に設置し、オンライン授業や課題をしている時間以外はほぼすべての時間を PC ゲームに費やすゲーマーでした。彼は四六時中部屋に引きこもり電話やタイピングなどで騒音を立てていて不快だったため僕はほとんど自室にいませんでした。深夜 2-3 時に勉強を終えて帰った時もゲームをしており、明るい画面と騒音のせいで寝付けなかったため、文句を言ったり、レジデンススタッフに苦情を言ったりしましたが、効果がなかったため RA に相談し共通のルールを作ることで何とか解決しましたがその後も就寝・起床時間をめぐって口論があり関係は最悪でした。また彼は禁止されていたにもかかわらずエアコンを設置したためルームメイトとしてミーティングに召集されるなど振り回されて本当に大変でした。また共同スペースである一階では何名かの中国人が大声で話しているときがしばしばあり、勉強に集中できませんでした。振り返ると寮での生活はとてもストレスフルなものであったように感じます。またお金を節約するために自炊しましたが普段から料理することに慣れていなかったため苦勞しました。そのうえ日本での食事とは勝手が違い、手に入る食材のサイズが大きいために使い切らず廃棄することになったり、一部の食材で味が大きく異なったりしていたこともあって困りました。</p>
<p>学習内容・勉強について</p>	<p>明治大学では経済学専攻ですが、アメリカに対してマーケティングや経営学などの実践的な学問が有名であるイメージをもっていたので現地では経済学に加えてそれぞれの科目を一つずつ受講しました。これらの授業では授業内での発言やグループワークでの活動が重視されており日本とは異なる授業形態で新鮮でした。もちろん教授の言っていることが聞き取れない、チームメイト同士の会話についていけないなどよくありましたが、それぞれ録音したものを聞き返す、リーダーに自分のやるべきことに関して質問するなどして乗り切りました。学生や教授は基本的に優しい人が多いため授業内容に関してわからないことがあれば質問すれば丁寧に教えてくれます。</p>
<p>課題・試験について</p>	<p>すべての科目で授業前にリーディング課題が課されており、そのページ数が 30P 前後と膨大で、授業が予習前提で進む、授業前に理解度を試すテストを受けなくてはいけないことを考えるとさばることはできず、平日は深夜遅くまで起きて勉強するのが当たり前でした。しかし慣れてくるとどこが大事でどこがそうでないのか区別できるようになり読解のスピードが上がっていききました。グループワークではチームメイトと定期的に集まってプレゼンテーションに向けて議論したり、企業分析に関するペーパーの方向性を話し合ったりと授業外でも貢献しなくてはならず大変だったこともありました。試験に関しては基本的にどの科目も中間と期末があり、特に記述形式を含む試験では丸暗記ではなくキーワードを理解したうえで自分の言葉で説明する英語力も必要となるため苦勞しました。しかし試験内容は教科書や授業内容がベースの良問が多く勉強した分だけ成績に反映されるため、高得点を目指して頑張っていました。)</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>Session1 では大学が提供するアクティビティに参加して観光を楽しみつつ留学生と交流しました。Session2 では個人的に仲良くなった留学生とビーチに行ったり食事をしたりしていました。またジムに行ったりスポーツを楽しんだりして勉強の息抜きの時間も大切にしていました。</p>
<p>留学を志す人へ</p>	<p>UCSS は語学学校ではないため単純に英語能力向上のためだけにこのプログラムに出願するのはやめたほうがいいと思います。 あくまで勉強がメインのため、出発前にどれだけ高い英語力を有しているかが留学中の充実度を左右する重要なカギとなります。そうは言うものの他国からの留学生との交流できる機会は本当に貴重なので、ぜひ勉強だけではなく時間を見つけてそういった活動にも全力で取り組んでもらいたいと思います。最後になりますが、留学で得られるものはどれも素晴らしいものばかりです。皆さんには自身の Comfortable Zone を抜け出して未知の環境に突っ込んでいく勇気、積極的に新しい物事へ取り組んでいこうとする進取の気性を大切にしてもらいたいと思います。</p>



## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
	授業	授業	授業	授業	授業	遊び	自習
午後	自習	授業	自習	授業	自習	遊び	自習
	自習	自習	自習	自習	自習	遊び	自習
夕刻	自習	自習	自習	自習	ジム、遊び	遊び	自習
夜	自習、睡眠	自習、睡眠	自習、睡眠	自習、睡眠	自習 or 遊び、睡眠	自習、睡眠	自習、睡眠

※